

北海道 建築士会 女性委員会

全国大会（栃木大会）報告

札幌支部 山本 明恵

10月20日の宇都宮は快晴でした。前日から準備のため会場に入り、情報プラザのブース展示やクイズ知ってるつもりのリハーサルなど連合会女性委員会の担当仕事に追われ、道士会女性委員会の出展ブースは旭川の富所さんと米本さんにお任せしてしまいましたが、当日はすっかりセットされて開場を待つばかりとなっていました。

情報プラザ（屋台村）

恒例になった屋台村は約40の出展ブースが並び、各地域の特色あるつくりや力作のパネル、模型、実物が展示され、まちづくりや環境をテーマとしたもの、地域の素材活用など、どれもその取り組みや活動の熱意が伝わるものばかりでした。

私達女性委員会の「こどもを育む住まいづくり」は、インパクトのあるパネルで参加者の目を引き、子供の住環境づくりに関心のある方から質問や意見、また冊子の内容についてお話できたことが嬉しかったです。次期開催地北海道として十勝、旭川の青年委員の力のこもったPRもしっかり目立っていました。

クイズ知ってるつもり

5年目になるこの企画は連合会女性委員会の主催ですが、今回初めて司会を担当することになりました。各ブロックと出展ブースから出題される20問を、イエス、ノーで解答するのですが、今回は問題が難しかったようで、5回に分けて表彰することに1時間という制限とお昼の時間帯にもかかわらずたくさんの方々が参加され盛り上がりました。

セッションE（市民交流セッション）

栃木県建築士会女性委員会主催のセッションEは、「安全・安心な住環境」をテーマとして、コミュニティセンターの和室とホールで行われました。

一般市民を対象にした住まいの耐震相談と新潟中越地震の記録放映及び討論会は室内に入り切れないほどの人で、建物の安全性について関心の高さに驚きました。ホールでは栃木県の伝統や自然、リサイクルでよみがえった身近な建築素材の展示が、集まった人々の和みの場となっていました。

昨年、香川県で全国女性建築士連絡協議会が開催された際、全国の地域素材を集め地図を作成しましたが、今回さらにバージョンアップした拡大地図を同じホールに掲示して見ていただきました。

伝統や地域性を生かした素材のすばらしさを後世に伝え残すことも、私達の役割だと感じました。

全国大会はお祭りの要素もあり、会場敷地内に広がる焼き鳥や餃子のいい匂いにつられた人も多かったようです。来年の北海道大会も、参加して良かったと感じていただけるよう頑張りましょう。



「小池かおるのサハリン日記」

旭川支部 小池かおる

2004年8月16日、夜中2:30 稚内に向けて出発。口数は少ない。それは、私がこれから、稚内港国際ターミナルからサハリンに向けて出発するからだ。情報ほとんど無し。インターネットで調べても、汚いトイレの写真、車のスピードがすごく速いとか(そう言えばタイヤもかなりのものだった)その程度。仕事で行った事があると言う人に聞くと、ロシア人は夜目(よめ)が聞く。夜、真っ暗なところでも、速く歩く(電気が夜ないから)とかそんな話しか…。一緒に行く人達も(行く前に何回か会議をする)なんとかなると言いながら伏し目がちに。考えている事はみんな一緒。大丈夫なのだけど何か心配。でも、誰も口にださなかった。と、そんな事を考えながら、8:00 集合だから稚内港国際ターミナルへ急いだ。あれ、そんな建物無い。でも、船はある。多分この船。稚内を10:00に出発するんだし。でも、隣に小屋がある。これか? 国際ターミナルは、7:00 位に着いたので誰もいない。でも船はあるし…。取りあえず朝ご飯を食べに全日空ホテルへ。で、私が何故サハリンに行くかと言うとT研究所『サハリン南部地域における生活環境保全に関する調査』でお手伝いをする事になったからだ。メンバーはK隊長、KO先生、かわいい女性が2人、T君、小池、横幕さんの7人であった。(サハリンに着くと韓国人の女性が通訳で合流)計8人に。ご飯を大急ぎですませ小屋のある場所へ。「あ、隊長の顔が…。」良かった。間違っただけで無かった。みんなの顔を見つけ安心して椅子に座っていると続々と食パンと一リットルの牛乳を持ったロシア人がやって来た。パンはあんた達の主食じゃないの?ロシアのパンのほうが美味しいじゃないの?稚内からパンと、牛乳を買って帰るのかい!と思っている内に入国審査らしき事が始まった。

船は、東日本海フェリー。名前は<アインス宗谷>日本の船だ。これは、2,3日前、本屋でロシアの観光ブックを読んだ時に日本船だと思いと書いてあったので、少しホッとしていた。ロシアの船だとわかっていたら、来たかどうかはわからない。

船は2等だったが、快適だった。1つのブースが18畳~20畳位。カーペット敷き。テレビも付いていて、衛星放送も観れた。ロシア人と

も分かれていたし日本人と一緒になのでこれからサハリンに行くという感じはなかった。と、その時、横幕さんがおもしろいものを見せてくれた。私達が泊まるラーダホテルについて書かれたものだった。

悪名高きラーダホテル~ソ連共産党時代には爆破事件があった。一番上の階にはカジノがある。新しいホテルはきれいだが、このホテルはこのままでいく。と、そんなような事が書かれてあった。

船の上でみせてもらって良かった。事前に知っていたらここには居なかったかもしれない。もう、サハリンに向かっている。も~…。考える事をやめた。

気分転換にデッキに出てみる。とても、気持ちがよい。フツと横を見る。全身黒づくめの小柄なロシア人が一人。年齢は20代前半。美しい。帽子まで黒。

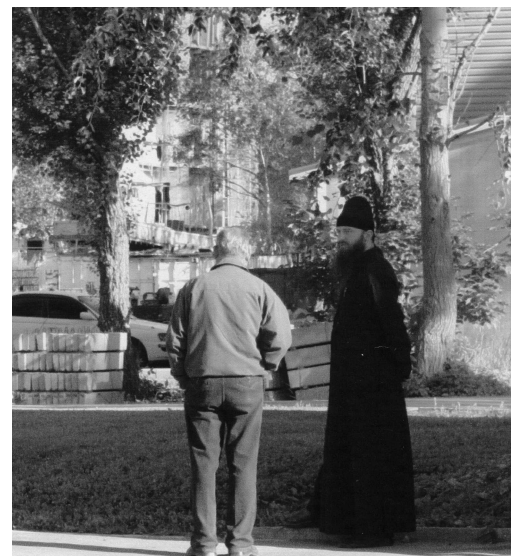
何者だこいつ。「あ、KGBかもしれない。」と心で思い、大急ぎで横幕さんのもとへ。「美しいけど怪しいあのロシア人はKGBではないか?」-小池

「男か女かわからない。中性的」 横幕

「KGBってソ連時代の話だけ??」-小池

と思いつつ船室へ。戻るとかわいい2人の女性はビールを飲んでいて。サッポロだったか、アサヒだったか忘れたが1つ100円。なんて安いのだ360mlが100円だって。そこへイルカ案内放送がかかった。大急ぎでデッキへ向かう。イルカがたくさん遊びにきていた。黒づくめのロシア人もまだいた。

何者だよ。気になるな~まったく。 つづく・・・



サハリンの風景

見学会を終えて

道央Bブロック 高橋 房恵

去る7月29日、当女性委員会道央Bブロックで滝川市にて見学会を開催いたしました。当日は好天に恵まれ、徒歩での移動が多かったのでいい汗(?)をかいていただくことになってしまいました。

本日のメインは、新築された高齢者専用賃貸住宅なのですが、そこは午後からのお楽しみにとっておき、午前中はあつらえたように徒歩圏内で完成間近の住宅新築現場の見学へ。自分(高橋)が所属する社の物件なので口はばったいのですが、シックハウス対策にと2年前から「抗酸化工法」を採用しています。シックハウスに関してはそれぞれがいろいろな形で取組んでおられるとは思いますが、一方法として今回ご覧いただくコースに組み込みました。ホテル三浦華園にてデザイナーズショップでクーラーにあたりちょっと一息。昼食をおいしくいただくため、お店まで徒歩10分。近頃話題の(?)ジン井を召し上がっていただきました。

さて、メイン会場の「カーサシーザーズ」。道内でも珍しい賃貸での高齢者専用住宅です。設計者の説明を聞きながら見学。8月1日から入居開始なので準備にお忙しい中、お骨折りいただきました。どこも頭の痛い予算とのせめぎあいなど、裏話まで披露していただき、なかなか楽しいお話でありました。初期費用が安価であることや都合が悪くなれば他を選べる安心感、夫婦ともに暮らせることなど反響は上々のようです。これから未曾有の高齢化社会がやってくるわけですが、選択肢が多くあることは喜ばしいことです。最後は滝川が誇る名所「太郎吉蔵」にて珈琲タイム。

ほんとうに暑い中、ご参加いただきましてありがとうございました。



第3回女性委員会 報告

委員長 早川 陽子

- ・とき 11月11日(土)午後1時~4時
- ・ところ 大通美術館会議室
- ・出席者 東、本間、富所、山本、白石、高橋、赤木、北村、大西(計9名)

~ 議 題 ~

1.平成18年度事業報告

- * 部会活動・・・子どもと建築部会を中心に活動
- * 各ブロック活動報告
 - (道央A)勉強会(11/11 設計監理業務の法的知識)
 - (道央B)見学会(9/24 高齢者向け賃貸住宅)
 - (道北)講習会(7/2 子どもを育むすまいづくりWS・11/3 お菓子の家作りコンテスト)
 - (道東A)勉強会(9/14 DIG・釧路駅周辺まちづくり協議会参加)
 - (道東B)来年はみんなが集まり楽しめる企画を予定
 - (道南B)来年は会う機会を増やす
- * 講習会・交流会
 - 「子どもをはぐくむ住まいづくり」WS
 - ~住みたい家ってどんな家?~(11/26・旭川 実施:建築士会、北海道建築指導センター)
- * 全国大会(10/20・栃木)情報パークに出店
- ・「子どもをはぐくむ住まいづくり」を出店
- パネル展示(冊子の内容と普及活動)
- ・「クイズ知ってるつもり」司会担当、出題

2.平成19年度 事業計画

- * 全国大会への協力
- * 集いの企画・・・講習会+見学会(旭川)
- * 全建女(青森)への参加
- * 部会別活動
 - 高齢社会とまちづくり...住まいづくり・リフォーム講座
 - 子どもと建築部会...冊子の普及活動
 - 環境と共生する住宅部会...リユースなど情報提供
- * 女性委員会設立20周年事業の企画

